



あいくみ

REPORT 2009.6.19



参議院議員 相原久美子

□国会事務所□□□□□□□□

〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館621号室

Tel. 03-3508-8621

Fax. 03-5512-2621



相原久美子●プロフィール

北海道生まれ。北海学園大学法学部卒業後、民間企業勤務を経て札幌市非常勤職員に。札幌市職、自治労北海道を経て自治労中央執行委員組織局次長を歴任。07年参議院選挙・全国比例区で初当選。現在、参議院で環境委員会、予算委員会、少子高齢化・共生社会調査会に所属。

6月2日、参議院予算委員会における2009年度補正予算の審議が終了しました。社会保障費を毎年2,200億円も削減した結果、地方の医療は崩壊しつつあり、生活保護世帯の母子加算204億円を削減した結果、子ども達が修学旅行もあきらめる、年金収入のみの高齢者世帯の負担増、障害者自立支援法による負担増。労働法制の改悪で所得格差・雇用不安を抱える労働者の増加と、国民生活の不安の課題は枚挙にいとまがない状況です。

にもかかわらず、政府案は今の国民の不安にどう対処しようとしているのか、将来の姿をどう描いているのか全然見えない予算案であり、これらの状況から考えるとさらに借金を作って「アニメの殿堂」と言われる建築物に100億円も投入することに私たちは怒りを覚えます。国民の血税であり、厳しい財政状況時だからこそ「不要不急」の考えで予算編成をするべきと考えます。国民の力で政権交代を果たし、新しい時代を作りましょう！

今こそ政権交代!! 私たちが実現します。



5月の両院議員総会で鳩山代表は「必ず政権交代を果たし、その先に絆、包容力のある社会を作りたい。国民とともに日本の大掃除、世直しを！」と力強く話されました。私も民主党の一員として、主権者である国民目線の政治に応える努力をすることを改めて決意をしています!!



(写真;右) 5月22日、参議院予算委員会で「経済対策」の参考人質疑で3名の参考人の方に質問。本当に今回の補正予算は、規模だけは大いけれど中身がまったくなかった!!



(写真;左) 5月26日環境委員会「自然公園法改正案」での質問。環境委員会に所属してから、はじめての質疑となります。沖縄・泡瀬干潟の埋立工事について質しました。

(写真;右) 臓器移植法改正案の勉強会。昨日、衆議院でA案が可決されました。「良識の府」である参議院で真摯に審議し結論を出さねばなりません。難しくとも重い課題です。



<http://aikumi.info>

相原久美子ホームページでは、日頃の活動をブログで紹介しています。携帯サイトもあります(⇒)。どうぞご覧ください!!



訪中（平頂山事件幸存者交流・献花）報告



5月5日、平頂山事件弁護団5名とともに中国・撫順市を訪問しました。1932年当時、東洋最大の出炭量であった撫順炭坑の防衛にあっていた日本軍（関東軍）と抗日義勇軍の戦いの中で、義勇軍が撫順市内に入ることを通報しなかった事に対する報復として平頂山地区の住民虐殺を行いました。これが平頂山事件です。今回の訪中の目的は、平頂山事件の現地に伺い、幸いにも生き残られた“幸存者”の方々に民主党国会議員有志の手紙を直接お届けすることです。手紙の趣旨は、幸存者の方々の日本政府への要求3点（公式謝罪、碑・陵園の整備、事実究明と教訓の継承）について賛同するとともに実現に向けての努力を約束するものです。

撫順では、目的である手紙をお届けするのみに留まらず、10年以上にも及び日本の平頂山事件訴訟弁護団の皆様が中国側と培ってきた信頼関係に基づき、中国側の配慮で平頂山記念館と戦犯管理事務所の視察、幸存者の皆さんとの座談会等々をさせていただくことができました。

事件現場では献花するとともに、その地に建つ記念館で歴史の事実である虐殺の跡を見学、説明を伺いました。また、幸存者の皆さんが希望されている陵苑の一助になればとの想いで植樹をさせていただきました。記念館側では、歴史を乗り越えた寛大なご配慮で大きな横断幕で迎えていただいたことに改めて身の引き締まる感がありましたこともご報告しなければなりませんし、この間弁護団の皆様が両国関係の構築に心血を注いでこられた結果であると感じた次第です。

引き続き、撫順戦犯管理事務所に訪問しました。こちらは現在、歴史の事実を残すという政府の方針で改修中にもかかわらず、見学できる範囲を案内いただきました。

午後には、ホテル会議室にて幸存者3名の皆さんと対話の時間をいただき、今回の一番の目的である手紙をお渡しすることができました。歴史の事実を教訓化し、二度とこのような悲劇を繰り返さないため努力をすることをお伝えしました。なお、この席には、市人大副主任（日本における自治体の副市長に当たる）他、関係者の方々も出席してくださいました。その後、撫順市政治協主席とも会談し、今後両国の経済発展のためにも新たな関係を構築していくことが肝要、等々を話し合いました。

夜の会食は中国側に招待いただき、撫順市政治協主席、市人大副主任、そして今回ご尽力くださった撫順市社会科学院院長、幸存者3名とご家族、撫順に留学している日本の方々他を交えて意見交換をすることができました。

なお、朝日新聞現地支局をはじめ地元メディアも1日張り付きで取材していたことも報告します。また今回頂いたカンパは、献花と植樹に使わせていただき、残金については私たちの趣旨を酌んで活用いただくよう記念館側にお渡ししました。

いかなる戦争も加害者、被害者の別はなく両国に大きな犠牲を出すことは、世界の歴史が示しています。平和のために全ての英知を集めて悲劇を繰り返さない。真に健全な国際関係を築く努力が国会議員として必要であると再認識いたしましたところ です。

参議院議員 相原 久美子 / 2009年5月

